

2022年度 グラスルーツ・イノベーションプログラム（GRIP）

募集要項

1. 趣旨

R2030 チャレンジ・デザインでは「次世代研究大学の実現」と「イノベーション・創発性人材の育成」とを目標に掲げ、研究・教育を通じて社会課題を発見・解決し、社会と共有される知的価値である「社会共生価値」を創造していくことを目指している。

グラスルーツ・イノベーションとは、社会共生価値の創造に向けてビジョンを共有する内外の関係者が、課題解決を必要とする地域・場所に赴き、その場で知の循環を図りながら研究成果を実装し、システムとして根付かせる「草の根型」の研究・地域連携の実践を意味する。

本プログラムは、グラスルーツ・イノベーションの理念に共感し、地域の課題解決に取り組む草の根型の研究プロジェクトを支援する。人文社会科学や自然科学といった研究分野を問わず、本大学の研究成果を利用した、地域での実証実験や、地域課題の発見・抽出のためのワークショップ・調査等により「総合知・実践知」の蓄積に資する活動を広く支援の対象としている。

本プログラムで取り組まれる研究プロジェクトが社会と立命館大学の研究・教学活動とを架橋し、社会的共生価値の創造に寄与することを期待する。

2. 募集内容

助成対象	グラスルーツ・イノベーションを起こすことを目的に、地域・自治体などに内在する課題について、研究成果を活用することによって解決を図るべく、その検証を行うための取り組みを助成する。 (例)・地域住民を対象とした実証実験の取組み ・地域資源を活用した製品・サービス開発の取組み
申請資格	本大学所属の教職員 ・教授、准教授、任期制教員（教授・准教授・講師・助教）、特任助教、特別契約教員（教授・准教授）、特別招聘教員（教授・准教授）、特別招聘研究教員（教授・准教授）、研究教員（教授・准教授・助教）、客員研究教員（教授・准教授・助教）、初任助教、専門研究員、初任研究員、研究員 ※過年度に採択実績がある教職員も申請可とする
助成金額	1件あたり100万円を上限とする。
採択予定数	15件程度
助成使途	旅費、消耗品費、図書資料費、アルバイト等謝金、印刷・製本費、委託費等、本プログラム実施のために必要となる経費を対象とする。ただし、委託費については研究開発要素を含まない内容のみを対象とする。 ※研究経費の執行管理は「研究費執行ガイドブック」に基づき、各キャンパスのリサーチオフィスが行う。
助成期間	2022年5月2日（月）～2023年3月31日（金）

3. 審査

(1) 審査方法

「申請調書」に基づき、審査委員長（研究担当副学長）が指名する委員で書面審査を行い、助成対象を決定する。なお、必要に応じてヒアリング等を実施することもある。

(2) 審査基準

下記の点を踏まえ、総合的に評価する。

- ① グラスルーツ・イノベーションの趣旨に整合する提案となっているか
- ② 活動計画に独創性・新規性および波及効果を期待できるか
- ③ 地域のステークホルダーを巻き込んだ学際共創型の計画となっているか

※学際共創型研究推進のため自然科学系と人文社会学系の融合体制での取組については加点を行う。

4. 募集・審査スケジュール

募集開始	2022年4月1日（金）
申請締切	2022年4月18日（月）正午必着
書類審査	2022年4月19日（火）～4月25日（月）
集計・採択決定	2022年4月26日（火）～4月28日（木）
審査結果の通知	2022年5月2日（月）
研究開始	2022年5月2日（月）

※上記の審査スケジュールは予定

5. 留意事項

- (1) 助成期間終了後に所定の様式にて研究報告書を提出すること。
- (2) 研究成果は積極的に社会において認識され、活用されることが望ましいことから、本大学で企画する各種イベントや広報物を通じた情報発信への参加・協力すること。

6. 申請方法

所定の申請様式に基づき申請する。提出方法はメール送付とする。

【 申請期間 】 2022年4月1日（金）～2022年4月18日（月）正午必着

【 提出先 】 funding@st.ritsumei.ac.jp

※事務局からの受信確認メールを以って提出完了とするため、事務局からのメールが届かない場合はお問い合わせください。

7. 問い合わせ先

研究部 BKC リサーチオフィス 堀井・音瀬（内線：515-6524） funding@st.ritsumei.ac.jp

総合企画部 起業・事業化推進課 富田・安東（内線：510-2086） funding@st.ritsumei.ac.jp